

## 東京スポーツ・レクリエーション専門学校の学生のみなさん

新型コロナウイルスの感染が世界中に広がり、私達は急な予定の変更や様々な制約を受ける等、多大な不安やストレスにさらされています。

学校現場では卒業式や入学式が通常の形で挙行できず、新学期が平常通り始められないなど、学生のみなさんの学園生活にも深刻な影響が出ています。

4月7日に政府より「緊急事態宣言」が発令されました。

日本としても初めての経験で、学生のみなさんも戸惑っていることと思います。

この困難な状況を乗り越えるためにこの期間で一番大切なのは、これ以上感染を広げないようにひとり一人が考えて行動することです。

数ヶ月に及ぶ自粛の中、「コロナ疲れ」「自粛疲れ」が出ているとの報道も目にしますし、自分は若いから感染しない、軽症で済む、などの誤った考えを持っている若者がいるとも言われています。

しかし、高等教育機関で学ぶみなさんは、情報化社会の中で氾濫する様々な情報の中から、事実や真実を自分の目で確かめ、自分の頭で考えてそれらを取捨選択する思考能力をこれまでの学修によって身につけているはずで

その思考力をしっかりと活用して、この困難を乗り越えるために一番適切な行動を取って欲しいと考えます。

また、新入生のみなさんは、予定されていたプレカレッジや入学式、オリエンテーションが中止や延期になり、非常に大きな戸惑いや不安の中で日々を過ごしていることと思います。

しかし学校では、この混乱が収束に向かい、無事に登校を始めることが可能になり次第みなさんが元気に生き活きと学習に励むことができるよう、教職員が学年暦の変更や、オンラインでの授業の工夫等、限られた時間の中で様々な工夫で何とかみなさんの学習への影響が少なくなるよう努力をしていますので、安心して下さい。

東京スポーツ・レクリエーション専門学校の全ての学生が笑顔で登校する日が一日でも早く訪れるように、在校生のみなさん、新入生のみなさん、教職員が、今できること、やらなければならないことをそれぞれの立場でしっかりと担っていきましょう。

東京スポーツ・レクリエーション専門学校  
学校長 関口 正雄